

令和 7 年度 学校自己評価

中津市立三保小学校 (8月)

1 学校の教育目標

自問して みんなで伸びる三保っ子の育成

2 育成を目指す資質・能力

人間関係形成能力

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

<p>評価判断基準</p> <p>A …達成率90～100%</p> <p>B …達成率70～ 89%</p> <p>C …達成率60～ 69%</p> <p>D …達成率60%未満</p>

生きて働く知識・技能の
思考力・判断力・表現力
学びに向かう力、人間性等の
涵養

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期（次年度）に向けての取組
夢や目標を持って、自ら学び続ける力の育成	①中津市標準学力調査でC層の児童の割合 ※国語20%以内 ※算数20%以内 ②単元テスト「知識・技能」80点以上の児童を80%	学校	○基礎基本的な学習内容の定着	①授業者は算数の授業で、振り返りや練習問題に取り組ませ、定着を図る。 ②教員は月に一度以上、国語の単元プランに関連した本を紹介し、読書をすすめる。	A	○単元テスト知識技能80点以上の児童を80%以上にする。 国語80% 算数94% 達成率109% ○国語の単元プランに関連した本を紹介し、読書活動の充実を図ることができた。
		家庭	○学習習慣・生活習慣の確立	○保護者は勉強時間・就寝時刻が守れるように我が子に声かける。	A	○勉強時間の声掛け89%・就寝時刻の声掛け81.2%が肯定的回答。
		地域	○学校への支援活動の推進	○学校の教育活動に、ゲストティーチャーとして学習支援を行う。	B	○1学期は支援活動自体が少ないので2学期以降の取組を参照する。
自ら考え、進んで行動することのできる力の育成	③「授業中、友だちと自分の考えを比べて考えることができた」と答える児童の割合を85%以上にする ④単元テスト「思考力・表現力・判断力」80点以上の児童を65%	学校	○算数における三保スタイルの授業実践の確実な実施	①算数授業のスタート時に、単元プランをもとに自らめあての確認ができるようにする。 ②算数の授業で【ペア・グループ学習】【ぶらぶらタイム】など全児童が声を出す場面を1週間に3回以上設定する。	A	○「友だちと自分の考えを比べた」90%達成率106% ○単元テスト思判表80点以上の児童を65%以上にする。 国語83% 算数73% 達成率120%
		家庭	○家庭内対話の充実	○保護者は毎日、今日の出来事を子どもに聞く	A	○【今日の出来事を子どもに聞く】94.2%ができたと回答。 ○学校通信・学級通信での啓発活動を今後も取り組んでいく。
		地域	○あいさつの推進	○GT等は交流やサポートで出会う児童に先手挨拶をする。	A	○地域の方々に「先手挨拶」に取り組んでもらっている。 ○今後も継続して取り組んでいただく。
自他を大切に、誰とでも協働できる力の育成	⑤「以前と比べて成長できた」と答える児童の割合を85%以上にする。 ⑥「みんなと力を合わせて取り組めた」と答える児童の割合を85%以上にする	学校	学習や生活の中に、自分や他人を大切にする活動を確立する。	①担任は月に一度、学級活動の中で、自問ノートの内容を扱った指導を、クラスの実態に合わせた形で行う。 ②担任等は人間関係づくりプログラムを月2回以上行う。 ③教員は生活科・総合的な学習の時間で、自らの学びを意味づけたり、学びを友だちと共有したりする「ふ	A	○【成長できた】94% 達成率111% ○「力を合わせた」95% 達成率112% ○「自問清掃」「自問ノート」の取組を今後も継続する。
		家庭	○子どものお手本となる言葉遣いの実践	○保護者は「ありがとう」の声かけをする。	A	○「ありがとう」の声かけ72%ができたと回答。 ○引き続き、学級懇談会や学校通信、学級通信等で繰り返し学校での取り組みを説明し、啓発活動を進めて行く。
		地域	○児童の頑張りを認め、ほめる	○GT等はあいさつに加え、一言プラスの声かけをする。	B	○地域への働きかけを積極的に行い、協働して取り組めると良い。
時間外勤務の縮減	⑦時間外勤務が月45時間以内におさまる職員の割合を85%以上にする。	学校	19：10施錠の徹底	○週に3回以上、18：45時までに学校をでる。	B	○時間外勤務月45時間以内職員の割合を85%以上 平均71% 達成率83% (4月・5月・6月・7月の平均) ○18：30の声かけの徹底を行い、18：45前の退庁の積み重ねで月45時間以内を目指す。
		家庭	子ども相談等の時間内の対応	○緊急の場合を除いて、学校への連絡や折り返しの電話は18時までにする	B	
		地域			B	

働き方
進改
革の推